

Roger Earpiece system

ロジャー・イヤープース・システム



日本テックトラスト株式会社

〒150-8512
東京都渋谷区桜丘町 26-1 セルリアンタワー15 階
TEL:03-6407-0493 URL: <http://www.trch-trust.co.jp>



ロジャーシステム、キーポイント

フォナック ロジャー システムは、2.4 GHz 周波数帯域で動作する、特に効率的なデジタル ワイヤレス イヤープieces システムです。

主な特徴は次のとおりです。

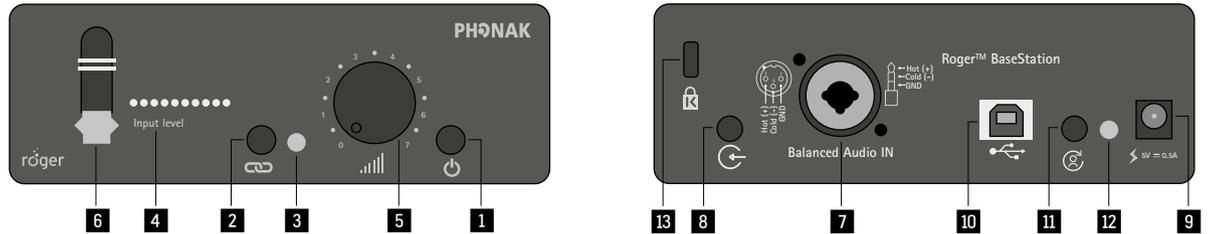
- ・ 2.4 GHz 帯域で動作する他のシステムとの干渉なし
- ・ オーディオ帯域幅100Hz~7200Hzの優れた音質
- ・ 歪み < 0.8% ~ 1 kHz
- ・ バックグラウンド ノイズなし、信号対雑音比 55 dB
- ・ 周波数プログラミングはもう必要ありません
- ・ イヤホンとの素早いペアリング
- ・ 送信機のイヤホンの数は無制限
- ・ 低遅延 (12.8 msec)

このシステムは、ロジャー イヤープieces、ロジャー ベースステーション (固定送信機)、ロジャー タッチスクリーン マイク (モバイル送信機およびリモコン)、ロジャー リピーターの 4 つの要素で構成されています。

目次

1	ロジャー ベースステーション	3
1.1	説明	3
1.2	インストール	4
1.2.1	インストールの手引き	4
1.2.2	ラックマウント	4
1.2.3	壁に設置する	5
1.2.4	スタートアップ	5
1.2.5	イヤープースとの接続	6
1.2.6	ロジャーネットワーク・クローン・ツール	6
2	Roger Earpiece ロジャーシステム、キーポイント	7
2.1	説明	7
2.2	バッテリー <重要>	7
2.3	ピープ音の意味	8
2.4	抗耳垢フィルターの交換	8
2.5	特別な機能	9
2.5.1	入力信号の検知	9
2.5.2	受信範囲から離れること	9
3	タッチスクリーンマイク	9
3.1	説明	9
3.2	アイコンの詳細	10
3.3	メインファンクション	11
3.3.1	イヤープースに名前を設定する	11
3.3.2	イヤープースのパラメーターをチェックする	11
3.3.3	イヤープースの音量を設定する	11
3.3.4	独立したトランスミッターとしてタッチスクリーンマイクを使う	11
3.3.5	ベースステーションと接続されたトランスミッターとしてタッチスクリーンマイクを使う。	11
3.3.6	クイックメニュー	11
3.3.7	その他のファンクション	11
4	ロジャーリピーター	12
4.1	詳細	12
4.2	利用方法	12
4.3	インジケータ点灯の意味	13
4.4	インストール	13
4.5	イヤープース1台と接続する	13
4.6	再起動	14

1 ロジャー ベースステーション



1.1 説明

- 1 オン/オフ ボタン
- 2 コネクト ボタン
- 3 コネクト インジケータ LED
- | | | |
|------|-----------|--------------|
| ● 2s | | イヤピースが接続状態。 |
| ● 1s | ● 1s | 範囲にイヤピースが無い。 |
| ● 1s | ● 1s ● 1s | 互換性のないレシーバー。 |
- 4 音量調整前の音声レベル
- 5 音量調整。
- 6 アンテナ。
- 7 バランスオーディオ入力コネクタ (XLRと6.35ジャック)。
 √ ノミナル 0 dBu / 0.77 VRMS
 √ 最大 +20 dBu / 7.75 VRMS
- 8 アンバランス入力コネクタ 3.5mmジャック。
 √ ノミナル -27dBu / 0.035 VRMS。
 √ 最大 0 dBu / 0.77 VRMS
- 9 Power supply socket 主な特徴は次のとおりです。
- 10 USBコネクタ (メンテナンス用)
- 11 新規ネット ボタン (すべてのペア・デバイスを削除して新しいネットワークの構築)。
 ● 2s 新規ネットの構築に成功。
- 12 新規ネット インジケータ LED。
- 13 盗難防止ロック

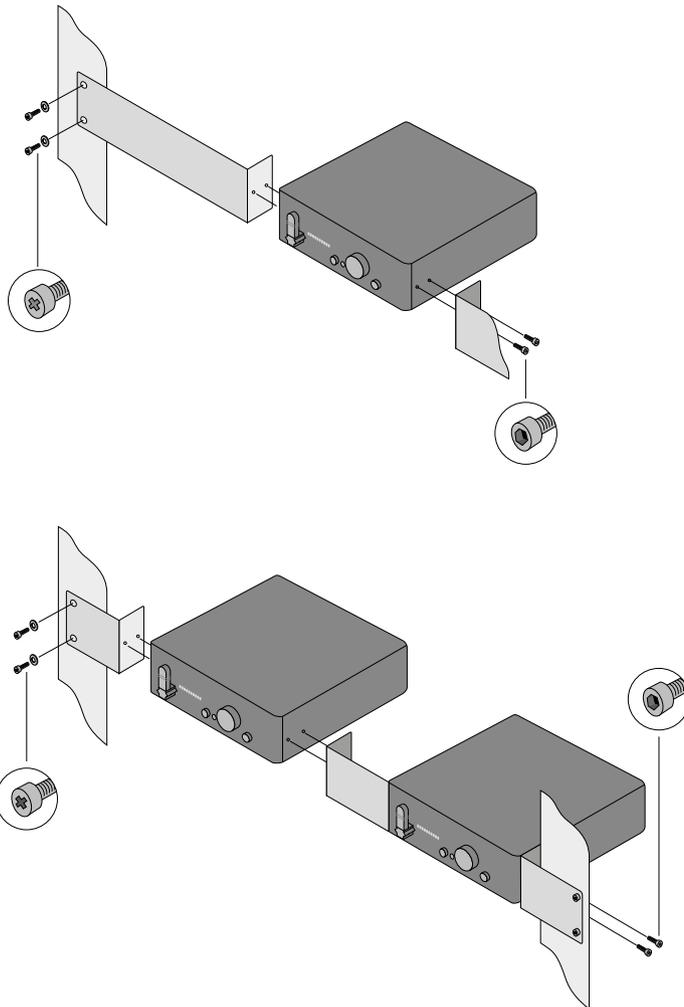
1.2 インストール

1.2.1 インストールの手引き

送信機の理論上の範囲は 15 ~ 40 m です。理想的には、カバーするエリアの中心に配置する必要があります。送信周波数 (2.4 Ghz) を考慮すると、人体による吸収は相当なものであり、より良い範囲を確保するには送信機を高い位置に配置する必要があります。

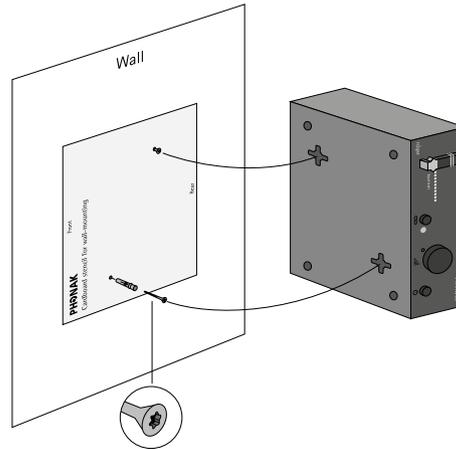
1.2.2 ラックマウント

19 インチのラックに 1 台または 2 台の送信機を取り付けることができます。マウント用サブフレームは製品に同梱されています。



1.2.3 壁に設置する。

送信機を垂直に配置し、アンテナ コネクタが上部になるように、またアンテナが水平になるように固定してください。マウンティングレフレームは付属品です。



1.2.4 スタートアップ

- 電源を接続する。
- 音源を XLR コネクタまたはミニジャック ソケットに接続します。両方が接続されている場合、ミニジャック ソケットの信号が優先されます。
- オン ボタンを押します。
- シグナルメーターで適切な音声信号レベルであることを確認してください。



信号レベルが小さすぎる。



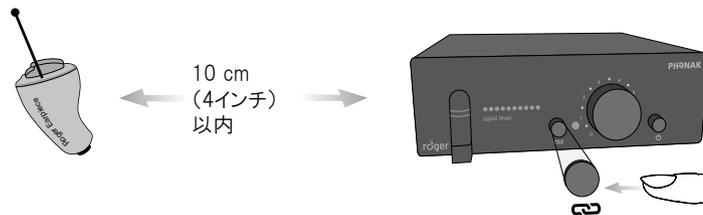
信号レベルが適切。



信号レベルが大きすぎる。

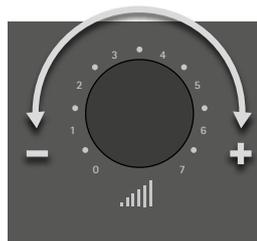
1.2.5 イヤーピースとの接続

- ・ ロジャー イヤーピースをアンテナから 10 cm 以内に配置します。
- ・ Connectボタンを押します。
- ・ LED が 2 秒間緑色に点灯します。



注意事項：

- ・ 一度に接続できるイヤホンは 1 つだけです。接続したら、新しいイヤホンをネットワークに追加できます。
- ・ 接続できるイヤーピースの数は無制限です。
- ・ 電池交換後もイヤホンは接続されたままです。
- ・ 接続後、イヤーピースの音量を確認し、送信機のポテンシオメータで設定してください。
- ・ 音量設定は、-14 dB から +12 dB の範囲で 2 dB ステップで変更できます。
- ・ 送信機に接続されているすべてのイヤホンは、音量設定の影響を受けます。
- ・ 各イヤホンの音量を個別に設定するには、ロジャー タッチスクリーン マイクで調整できます。
- ・ 接続されているすべてのイヤホンから BaseStation を切断するには、背面の NewNet ボタンを 7 秒以上押します。対応する LED が 2 秒間緑色に点灯します。



1.2.6 ロジャーネットワーク・クローン・ツール

ロジャー ネットワーク クローン ツール(Windowsアプリ)を使用すると、複数のロジャー送信機にネットワークデータをコピーできます。このソリューションにより、重複しない複数の領域をカバーし、カバーされたゾーンに入るときに「接続」を行う必要なく、ロジャー イヤーピースをそれぞれの間で自由に移動させることができます。

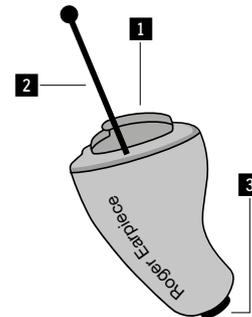
制限：このソリューションは、ロジャーの重複しない領域にのみ適用できます。複数の送信機が使用されている継続的なカバレッジでは、ロジャー リピータが実装されるソリューションです。ロジャーリピーターは、ロジャーイヤピースを各ゾーン間で確実に移行させ、複数のロジャーネットワークが利用可能な場所でアーティファクトがないことを保証します。

ダウンロードURL: <https://www.phonak-communications.com>

2 イヤーピース

2.1 説明

- 1 バッテリー収納部
- 2 取外し用つまみ
- 3 ワックス・ガード - 抗耳垢フィルター



2.2 バッテリー <重要>

ロジャー イヤーピースは、コンパクトなサイズで最高のパフォーマンスを提供する空気亜鉛電池を使用しています。

このバッテリーは、周囲の空気を使用して化学プロセスを活性化し、電気を生成します。粘着ラベルがバッテリーの空気取り入れ口を閉じることで未使用状態を保持しています。

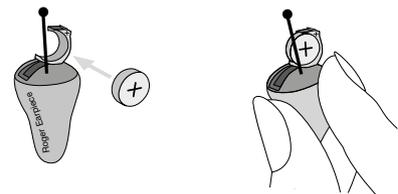
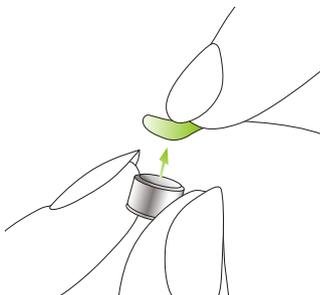
このラベルをはがした後、バッテリーが最大容量に達するまで約 2 分間待つ必要があります。

電池収納部のふたを開けたら、電池の保護フィルムをはがし、電池の+側を手前、ふたが右側になるように入れてください。コンパートメントを閉じると、イヤホンがオンになります。

イヤピースを使用しないときは、バッテリー コンパートメントドアを開いてイヤホンの電源を切ることをお勧めします。(フィルムを元のように貼り付けても、バッテリー放電し続けます。)

フォナック純正のバッテリーを利用することでイヤピースの最高のパフォーマンスを得られます。

その後、イヤホンにバッテリーを装着してください。



2.3 ビープ音の意味

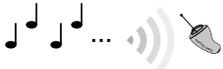
  スタートアップ

   ペアリングされた送信機を検知／スリープモードから抜けた

  接続

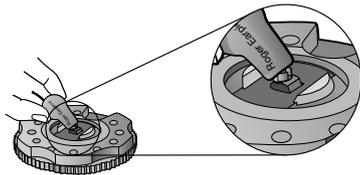
  接続切れ

   バッテリー電圧低下

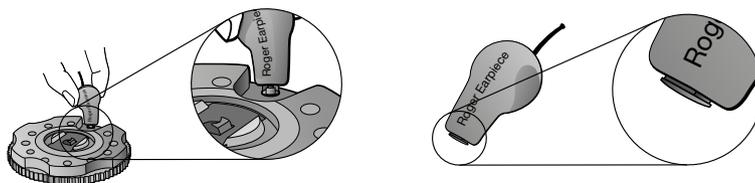
 受信範囲外

2.4 抗耳垢フィルターの交換

抗耳垢フィルターは定期的に変換する必要があります。
これを行うには、付属のツールを使用して緑色のフィルターを取り外します。



次に、新しいフィルターを取り付け、フィルターが適切な位置にあることを確認します。



2.5 特別な機能

2.5.1 入力信号の検知

ベースステーションが入力されるオーディオ信号を 5 秒以上検出しない場合、イヤホンの音量は 6 dB 減少します。オーディオ信号が再び検出されるとすぐに、以前の音量に戻ります。

2.5.2 受信範囲から離れること

イヤピースが受信範囲外になると、ピープ音が繰り返し鳴ります。イヤピースが受信範囲を離れてから30分以内に戻ると、自動的に再接続されてピープ音が止まります。

受信しない状態で30分後にイヤピースはスタンバイモードに入ります。

スタンバイモードでは、イヤピースはペアリングされたネットワークからの信号をサーチします。ネットワークが検知されるとすぐに、イヤピースは数秒以内にスタンバイモードから抜けて、ピープが鳴ってからオーディオ信号が復帰します。

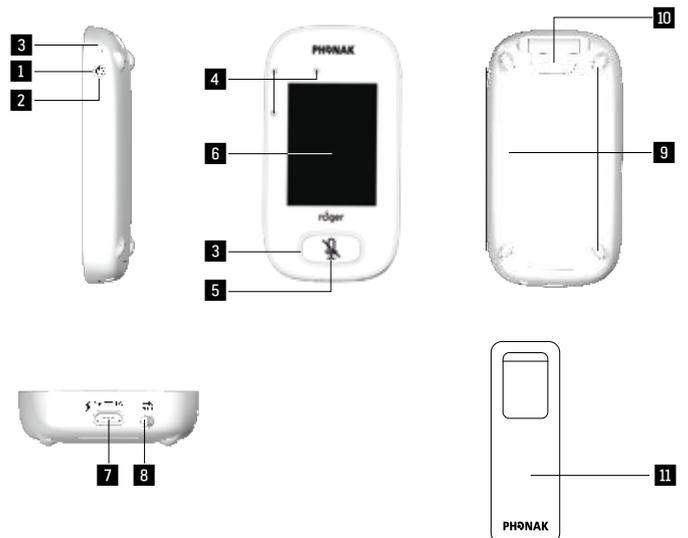
3 タッチスクリーンマイク

3.1 説明

ロジャー タッチスクリーンマイクは3つのメインファンクションがあります。

- ポケット・トランスミッターとして使用する。
- イヤピースの名前を登録する。
- 個々のイヤピースの音量を設定する。

- 1 バッテリー収納部
- 2 取外し用つまみ
- 3 インジケータLED
- 4 マイクロフォン
- 5 ミュート・ボタン
- 6 タッチ・スクリーン
- 7 Micro-USBソケット
- 8 3.5 mm ジャックソケット
- 9 脚
- 10 ネック・ストラップ用挿入口/リリースボタン
- 11 ベルトクリップ(オプションアクセサリ)



3.2 アイコンの詳細

タッチスクリーンを使用すると、アイコンを押して機能にアクセスしたり、指をスワイプして画面を変更したりできます。

	アイコン	機能
ホーム画面	 Connect	イヤホンにロジャー タッチスクリーン マイクと同じネットワークに接続する (リモコンとして使用する場合は必要ありません。送信機機能のみ)
	 Network	サブネットからロジャー タッチスクリーン マイク ネットワークに戻る
	 SubNet	一時的なサブネットワークを作成します
画面2	 List devices	接続されているロジャー デバイスのリスト
	 Check	イヤピースのパラメーターを確認する
	 SoundField	フォナック サウンドフィールド ラウドスピーカーのパラメーターの設定
画面3	 Disconnect	ロジャー タッチスクリーン マイクのネットワークからイヤホンを切断する
	 NewNet	新しいロジャー タッチスクリーン マイク ネットワークの作成 (通常の使用では使用しないでください)。
	 Settings	設定へのアクセス
	 JoinNet	別のネットワークに参加できるようにします (通常の使用では使用しないでください)。
	 Mic mode	ロジャー タッチスクリーン マイク設定へのアクセス

3.3 メインファンクション

3.3.1 イヤーピースに名前を設定する。



- タッチスクリーンから10cm以内にイヤーピースを置きます。
- Settingメニューに入り、Receiver Settingsに入ります。
- Name を選択します。
- Confirmボタンを押します。

3.3.2 イヤーピースのパラメーターをチェックする。



- タッチスクリーンから10cm以内にイヤーピースを置きます。
- Checkアイコンを押します。
- 次の情報を確認できます。:イヤーピースのタイプ、名前、シリアル番号

3.3.3 イヤーピースの音量を設定する。

- タッチスクリーンから10cm以内にイヤーピースを置きます。
- Settingメニューに入り、Receiver Settingsに入ります。
- EasyGain levelを選択します。
- 音量を調整します。(2dBステップ±8dB)

3.3.4 独立したトランスミッターとしてタッチスクリーンマイクを使う。



- Subnetモードを選択します。
- タッチスクリーンから10cm以内にイヤーピースを置きます。



- Connectを押します。
- イヤーピースがタッチスクリーンマイクと接続されます。すでにベースステーションと接続されていた場合、以降はベースステーションとは接続されません。

3.3.5 ベースステーションと接続されたトランスミッターとしてタッチスクリーンマイクを使う。



- Networkモードを選択します。
- タッチスクリーンマイクをベースステーションから10cm以内に置きます。
- ベースステーションでConnectボタンを押します。

タッチスクリーンはベースステーションと同じネットワーク内にあります。ベースステーションはタッチスクリーンよりも優先されます。これは、ベースステーションへのオーディオ入力信号が無音になると、イヤホンへのタッチスクリーンマイクの音が送られます。しかしベースステーションへの入力信号が検知されるとベースステーションのオーディオ信号が優先されてイヤホンへ送られます。

3.3.6 クイックメニュー

クイックメニューモードでは、つぎのファンクションとアイコンが有効です。



Connect



Check



Disconnect



Settings

- Settingに入ります。
- つぎに Quickメニューに入ります。
- そしてパスワードを入力します。
- このパスワードはSettingモードに入るために、またQuickモードを出るために、必要となります。

- もしデバイスがすでにQuick menuモードにある場合、パスワードは 1 2 3 4 です。

3.3.7 その他のファンクション

多くのその他のファンクションは、英語の説明書を参照してください。

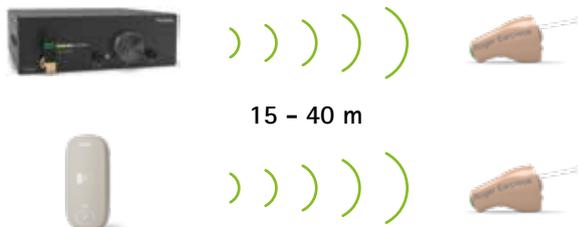
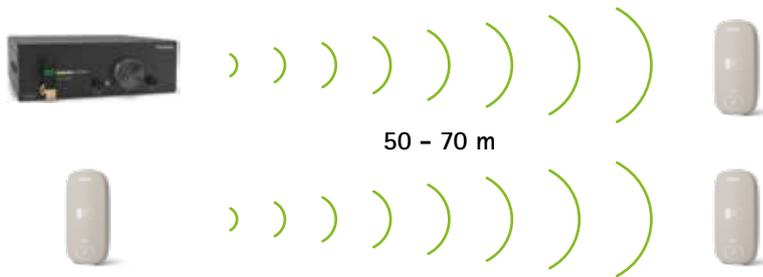
4 ロジャー リピーター

4.1 詳細

ロジャー リピーターは、ロジャー ベースステーション送信機のカバレッジを拡張することを可能にします。複数のリピーターをリンクするか、ベースステーションに関連してスター構成で取り付けることができます。

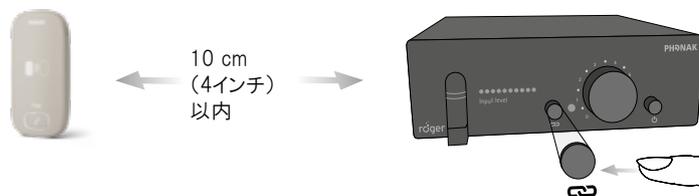
より良い受信のために、ベースステーションとリピーターの間、または 2 つのリピーター間の範囲は 50 m から 70 m になります。イヤホンまでの距離は15~40mです。

リピーターを1台経由するごとに音声遅延が 2 msec ずつ追加されます。

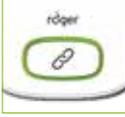


4.2 利用方法

リピーターを BaseStation に接続するには、イヤピースをペアリングするのと同様に、ベースステーションから 10 cm 以内にリピーターを配置して、フロントパネルの [接続] ボタンを押してください。

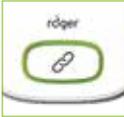


4.3 インジケータ点灯の意味

		オン/オフ			オン/オフ
		充電中			接続中
		充電完了			イヤピースがリピーターに接続されている
		オン			範囲内にデバイス無し
		電池の残量わずか			互換性のないデバイス

4.4 インストレーション

ファンクションライトの点灯具合で、リピーターが適切な距離に配置されているかどうかを確認できます。

		近すぎる
		正常
		遠すぎる
		範囲外

4.5 イヤピース1台と接続する

通常、イヤホンはベースステーションのボタンで接続されます。しかしベースステーションに接続中のリピーターを利用中であれば、リピーターの“Connect” ボタンを押して、リピーターから10cm以内に置いたイヤピースと接続することもできます。

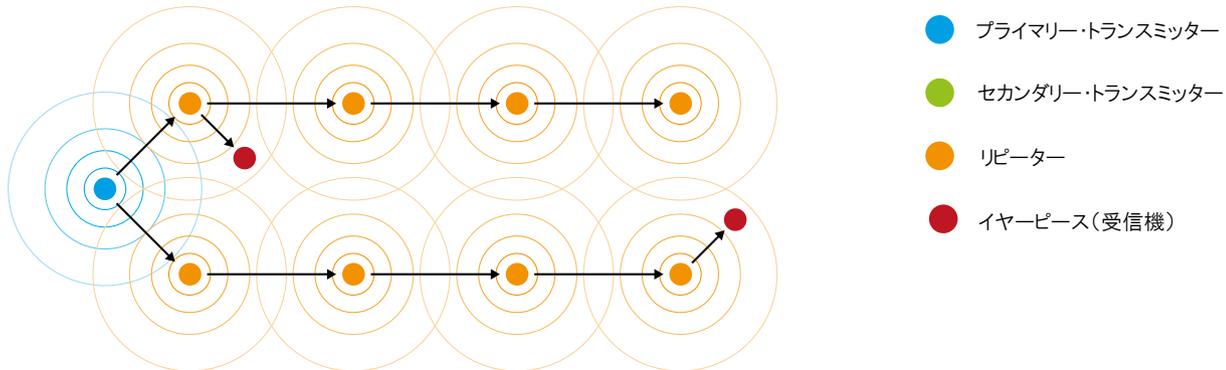


使用できる構成のさまざまな例を以下に示します。

1 つまたは 2 つのリピータの追加



広範囲をカバー



4.6 再起動

リピーターを再起動するには:



